

新 郡市医師会長 インタビュー

第 2 回 美祢市医師会長 原田 菊夫 先生

と き 平成 31 年 2 月 28 日（木）

ところ （医）原田外科医院

〔聞き手：広報委員 堀 哲二〕



堀 委員 今回は平成 30 年 4 月から美祢市医師会長に就任された原田菊夫 先生に、ご多忙にもかかわらずインタビューをお願いし、新会長としての抱負や各医師会の現状、さらに新会長のお人柄を紹介させていただきたいと思います。原田先生、よろしくお願いいたします。

まず新会長として、どのような抱負をお持ちでしょうか。

原田会長 人口減少、高齢化社会を見据え、行政と医師会、市民が一体となった地域医療の活性化を推進していきたいと考えております。

堀 委員 具体的には、どのようなお考えでしょうか。

原田会長 美祢市では平成 22 年度より 10 年計画で高齢者の尊厳の保持と自立生活支援の目的のもとで、“人に優しい医療福祉の充実した町づくり”の計画が策定されています。

医師会は、保健医療サービスの充実、高齢者保健福祉を中心として、美祢市に協力しております。その中でも医師会としては、地域包括ケアシステムの実現に向けて協力したいと考えております。

それには、行政、医師会、市民の三者が協力して制度を整備する必要があります。

今、美祢市医師会員の連携はうまくいっていますし、行政との関係も良好であり、市民との信頼関係も充分保たれております。このような医療圏でこそ、地域の特性に応じた素晴らしいシステムが作り上げられるのではないのでしょうか。小さな医師会規模だからこそ、メリットがあると考えております。

堀 委員 ありがとうございます。次に美祢市医師会の概要をお伺いします。小さな医師会と伺っておりますが、会員の先生方は何人おられますか？

原田会長 A 会員が 8 名、B 会員が 10 名の小規模な医師会です。

堀 委員 若い年齢の先生は多いですか。

原田会長 50 ～ 60 歳の会員が中心で、年々、高齢化しております。

堀 委員 小規模の医師会では会員の負担が多い

と思いますが、医師会活動で問題点はありませんか。

原田会長 私の場合は、以前より会議への出席が多く、特に多忙になったとは感じておりません。それよりも会長になり、直接意見を聴くことができ、速やかな対応が可能になりました。やはり小さな医師会のメリットでしょう。

堀 委員 美祢市では耳鼻科、眼科などの開業医がおられませんが、今後どのようにお考えでしょうか。

原田会長 小さな医師会ですので、すべての科を網羅する数の開業医を確保することは難しいと思います。幸いなことに、美祢市には 2 つの市立病院があり、各科の専門医の先生方が他の病院より診察にいられております。会員の先生方も標榜はしていませんが、毎日の診察で、いわゆる総合診療医という立場で診察しており、円滑な治療が行われていると考えております。

堀 委員 救急体制はいかがでしょうか。

原田会長 今も言いましたが、会員は総合診療医という立場より可能な限り、対応しております。開業医では、24 時間救急医療を専門に対応していただける救急クリニックがあり、一次救急に協力していただいています。

さらに、美祢市の 2 つの市立病院で、緊急の受診、入院検査を依頼しております。また、交通網がよく、山口市、宇部市、下関市にも短時間で受診することができ、各市の大病院とも良好な関係で緊急受診をお願いしているのが現状です。

堀 委員 ところで、美祢市には、美祢市医師会と美祢郡医師会が共存していますが、共存している経緯を教えてください。

原田会長 現在の美祢市は、旧美祢市と旧美祢郡の秋芳町と美東町が合併して誕生しました。ところが医師会は、旧美祢市の美祢市医師会と、旧美

祢郡の美祢郡医師会は合併せず、以前のまま継続しているので 1 つの市に 2 つの医師会が共存しています。

堀 委員 1 つの行政区で 2 つの医師会が存在することで何か問題はありませんか。

原田会長 行政側とは密な連携があり、今のところ問題はありません。市の職員の方々も医師会への理解があり、いつも多忙である現況は知っておられ、説明会などは私たちの診療時間終了後に予定され、大変感謝しております。

堀 委員 山陽地区のある医師会では、このたび合併の話が挙がっておりますが、美祢市医師会ではどのようにお考えでしょうか。

原田会長 そのような話も伺っております。医療の効率化や環境の変化で近い将来、合併が必要と考えられます。しかし、現状は特に合併しなければならない緊急の課題はありません。会員の先生方にもいろいろな考え方の先生がおられ、郡医師会の考えも尊重しなければなりません。次回の美祢市医師会の総会で議案の一つとして提出し、会員の先生方のご意見を伺いたいと考えております。

堀 委員 合併の問題は内部と相手側の意見の一致と理解が必要ですね。

堅苦しい話ばかりでしたが、今度は先生ご自身について、お話ししたいと思います。まず、ご出身はどちらですか。

原田会長 私は昭和 34 年に北九州の八幡で生まれました。

堀 委員 それでは学校はずっと福岡県内でしたか。

原田会長 福岡県立東筑高校卒業までは九州にいましたが、山口大学へ入学後は山口県在住です。

堀 委員 どのようなきっかけで美祢市で開業されたのですか。

原田会長 大学病院勤務時代より、美祢市で診察のお手伝いをしていました。美祢で長年診察をしていますと患者さんも多くなり、美祢の方々との関係も次第に密になり、美祢に愛着を感じるようになりました。さらに美祢市医師会の現状もよく理解できました。このようなご縁で美祢市に開業しました。

堀 委員 地方で開業する先生は少なく、先生は本当に美祢に愛着をもっておられるのですね。ところで休日などはどのように過ごされていますか。また、どのような趣味をお持ちですか。

原田会長 食事をすることです。なんでも食べます。

堀 委員 スポーツなど、他に趣味はお持ちですか。

原田会長 体操です。最近、食事の摂りすぎで少し肥ってきました。患者さんに「運動しろ、体を動かせ」とばかり言っても、医者自身が行動に移さないと説得力がありませんからね。

堀 委員 本日は本当に長時間のインタビューありがとうございました。先生の今後のご活躍を祈念し、インタビューを終わらせていただきます。



表紙写真の募集

山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。

アナログ写真、デジタル写真を問いません。

ぜひ下記までご連絡ください。

ただし、山口県医師会会員撮影のものに限ります。

〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会総務課内 会報編集係

E-mail : kaihou@yamaguchi.med.or.jp